

〈名誉指導医申請書類 記入上の注意〉

□ 1. 申請書（書式 H1）

□ 2. 脊椎脊髄手術症例 1000 例 とりまとめ表（書式 H2）

- ・執刀医または指導的助手としての症例を部位ごとに記載ください。
- ・全例が指導的助手で、なおかつ全例が他施設での症例は不可です（自身の施設での執刀医としての症例が少なくとも 1 例はある必要があります）。指導的助手とは執刀医に対し手術の主要な部分を指導するための助手を指します（単なる第一助手ではなく、執刀医に対し手術の主要な部分を指導する助手を指します）。

□ 3. 脊椎脊髄手術症例 1000 例 一覧表（書式 H3）※期間の制限はありません。

- ・「書式 H3」ファイル内のサンプルを参照し、部位ごとに一覧表を作成ください。
- ・下記の症例は申請不可です。

抜釘、Halo 装着、生検、創傷処置、軟部腫瘍切除、処置に準ずる小手術、血腫除去、異物摘出、経皮的な小手術。なお経皮的な小手術とは経皮的髄核摘出術、レーザー椎間板蒸留法、椎間板注入療法や経皮的に PMMA を注入するだけの椎体形成術などを指します。

□ 4. 医療安全・感染防止対策・倫理等に関する研修 1 単位取得証明

- ・学会マイページの「JSSR 学会参加・単位取得履歴」の、指導医イブニングセミナーまたは脊椎脊髄病研修コースの I か II の受講履歴のキャプチャー・スクリーンショットをアップロードしてください。

□ 5. 日本脊椎脊髄病学会学術集会参加証（コピー可） - 2 回分（氏名の記載があるものに限り）

参加証がない場合

- ①座長や学会発表があればその抄録のコピー（共同演者は不可）
- ②学術集会中に開催された日本整形外科学会教育研修講演の受講証明書コピー
- ③あるいは学会マイページの「JSSR 学会参加・単位取得履歴」の学会参加履歴または「医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修」受講履歴のキャプチャー・スクリーンショット。

なお、参加証の再発行は受けません。

□ 6. 日本整形外科学会認定 脊椎脊髄病医認定証

- ・本会指導医の認定証ではなく、日本整形外科学会の認定証であることを確認してください。

※認定期限が切れていないかを必ず確認してください。

※認定証ではなく、日整会マイページのキャプチャー・スクリーンショットのご提出でも可です。

その場合は、必ずご自身の氏名と脊椎脊髄病医の資格をお持ちであることが分かるようにスクリーンショットください。

□ 7. 審査料 3 万円の郵便振込み受領書